

隅 藏 康 一 准教授

専門分野：知的財産政策、科学技術イノベーション政策

学位：博士（工学）（東京大学）

略歴：1993年東京大学理学部卒、1995年同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、1995年同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学、1998年博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、1999年同センター助手、2001年本学助教授、2007年本学准教授。2012年6月より文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官、本学連携准教授。2014年6月より本学准教授、文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ客員総括主任研究官（2015年6月まで）。

1. 業績（A）

（1） 図 書（編・共著）

- * 日本知財学会知財学ゼミナール編集委員会（編）（編集委員会は隅藏康一が委員長、他4名の委員）『知的財産イノベーション研究の展望 明日を創造する知財学』、白桃書房、2014年12月。
- * 日本知財学会知財学ゼミナール編集委員会（編）（編集委員会は隅藏康一が委員長、他4名の委員）『知的財産イノベーション研究の諸相』、コンテンツ・シティ出版、2014年6月。
- * 日本機械学会（編）（編集委員会は近藤恵嗣・荒木勉・大上浩・隅藏康一）『法工学入門』、丸善出版、2014年10月。

（2） 雑誌論文（共 著）

- * 隅藏康一・齋藤裕美「アカデミック・ナレッジはイノベーションに貢献しているか？ ライフサイエンスに基づく製薬・バイオのイノベーション創出に向けて」、日本知財学会知財学ゼミナール編集委員会（編）『知的財産イノベーション研究の展望 明日を創造する知財学』（白桃書房、2014年12月）、209-235。
- * 山内勇、枝村一磨、角山史明、隅藏康一(2014)「日本人発明者の移動と技術流出リスク 韓国企業の人材活用モデル」、日本知財学会誌、11巻2号、47-65。
- * (査読付き) Hidemichi, Fujii, Kazuma Edamura, Koichi Sumikura, Yoko Furusawa, Naomi Fukuzawa, Shunsuke Managi (2014) “How enterprise strategies are related to innovation and productivity change: An empirical study of Japanese manufacturing firms,” *Economics of Innovation and New Technology*, 24:3, 248-262.

（3） 学会発表

- * 隅藏康一「オーダーメイド医療時代のリスクと安全」日本機械学会連続講座（NEDO 共催）「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」（招待講演）、日本機械学会（信濃町）、2014年6月20日。
- * Saito, H. and K. Sumikura “Effect of collaborative research with academia; focus on pharmaceutical industry,” XXV ISPIM conference, Proceedings (in Academic Research Development Sessions), June 2014. (口頭発表は齋藤による)
- * 隅藏康一「日本のバイオベンチャー企業に対するアカデミアの貢献」、日本機械学会2014年度年次大会、東京電機大学、2014年9月8日。

- * 齋藤裕美・隅藏康一「産学官連携に積極的な製薬企業の特徴:開発状況に焦点をあてて」、日本機械学会 2014 年度年次大会、東京電機大学、2014 年 9 月 8 日。(口頭発表は齋藤による)
- * Koichi Sumikura “R&D activities of Japanese firms in automotive industry,” 3rd Dialogue for Global Innovation on Urban Mobility, Smart Energy and Healthcare focused at Risk Management of Advanced Science & Technology (招待講演) Graz, Austria, October 7th, 2014.
- * 古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一「規制が企業の研究開発活動に及ぼす影響」研究技術・計画学会第 29 回年次学術大会、立命館大学、2014 年 10 月 18 日。(口頭発表は古澤による)
- * 齋藤裕美・隅藏康一「自動車産業における産学共同研究の実証的考察」研究技術・計画学会第 29 回年次学術大会、立命館大学、2014 年 10 月 18 日。(口頭発表は齋藤による)
- * 隅藏康一・枝村一磨・福澤尚美・古澤陽子「民間企業へのアンケート調査に基づく研究開発・イノベーションの課題」研究技術・計画学会第 29 回年次学術大会、立命館大学、2014 年 10 月 19 日。(口頭発表は隅藏による)
- * 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子・福澤尚美「企業の知的財産活動に関する調査 平成 25 年度民間企業の研究活動に関する調査より」、日本知財学会第 12 回年次学術研究発表会、東京理科大学、2014 年 11 月 29 日。(口頭発表は枝村による)
- * 福澤尚美・隅藏康一・枝村一磨・古澤陽子「民間企業の研究活動に関する調査 2013 からみる他組織との連携状況」、日本知財学会第 12 回年次学術研究発表会、東京理科大学、2014 年 11 月 29 日。(口頭発表は福澤による)
- * 古澤陽子・隅藏康一「産学連携における人材がパフォーマンスに及ぼす影響」、日本知財学会第 12 回年次学術研究発表会、東京理科大学、2014 年 11 月 29 日。(口頭発表は古澤による)
- * 隅藏康一「新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献:研究から臨床応用までの過程」、日本知財学会第 12 回年次学術研究発表会、東京理科大学、2014 年 11 月 30 日。
- * 齋藤裕美・隅藏康一「産学共同研究と企業パフォーマンス ~ 医薬品産業におけるパイプラインに着目して」、日本知財学会第 12 回年次学術研究発表会、東京理科大学、2014 年 11 月 30 日。(口頭発表は齋藤による)
- * Yoko Furusawa, Kazuma Edamura, Koichi Sumikura “Impact of regulation on firm R&D activity—the case of Japanese manufacturing sector—,” 15th Eurasia Business and Economics Conference, Lisbon, January 9th, 2015。(口頭発表は枝村による)

(4) その他

- * 文部科学省科学技術・学術政策研究所 第 2 研究グループ(隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美)『民間企業の研究活動に関する調査報告 2013』、NISTEP REPORT No.160、2014 年 9 月。

2. 業績(B)

(1) 書評・解説等

- * 隅藏康一「遺伝子特許をめぐる動向とコンパニオン診断薬の開発への影響」(第 10 回 DIA 日本年会 日本発の創薬革命 - 革新的創薬・育薬に向けたアカデミア・行政・企業の果たすべき役割 - コンパニオン診断薬と新薬の同時開発に向けた現状と展望)、臨床医薬、30 巻、475-481、2014 年 6 月(講演録)。

- * 隅藏康一「ラボノートと今後の研究」、医療と法ネットワーク メールマガジン(コラム:医療と法)、第43号、1-3、2014年7月。
- * 隅藏康一「知的財産権・イノベーション」、日本機械学会誌、117巻、576頁(機械工学年鑑2012の24・2)、2014年8月。
- * 隅藏康一「創造的活動の成果の保護」、日本機械学会(編)『法工学入門』(丸善出版、2014年10月)、87-95。
- * 隅藏康一「遺伝子特許の現状と今後」、臨床病理レビュー 特集 第153号『コンパニオン診断の進展 2014-2015 個別化医療を進めるために』、89-94、2014年11月。

(2) その他

- * Saito, H. and K. Sumikura “Effect of collaborative research with academia; focus on pharmaceutical industry,” XXV ISPIM conference, Proceedings, 8 pages (CD-ROM) (2014).
- * 隅藏康一「日本のバイオベンチャー企業の特許分析 発明者に着目して」『日本機械学会2014年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中4頁(2014年)
- * 齋藤裕美・隅藏康一「産学官連携に積極的な製薬企業の特徴;開発状況に焦点をあてて」『日本機械学会2014年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中5頁(2014年)
- * 古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一「規制が企業の研究開発活動に及ぼす影響」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』29巻、248-251頁(2014年)
- * 齋藤裕美・隅藏康一「自動車産業における産学共同研究の実証的考察」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』29巻、83-86頁(2014年)
- * 隅藏康一・枝村一磨・福澤尚美・古澤陽子「民間企業へのアンケート調査に基づく研究開発・イノベーションの課題」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』29巻、292-297頁(2014年)
- * 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子・福澤尚美「企業の知的財産活動に関する調査 平成25年度民間企業の研究活動に関する調査より」『日本知財学会第12回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁(2014年)
- * 福澤尚美・隅藏康一・枝村一磨・古澤陽子「民間企業の研究活動に関する調査 2013からみる他組織との連携状況」『日本知財学会第12回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁(2014年)
- * 古澤陽子・隅藏康一「産学連携における人材がパフォーマンスに及ぼす影響」『日本知財学会第12回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁(2014年)
- * 隅藏康一「新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献:研究から臨床応用までの過程」『日本知財学会第12回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁(2014年)
- * 齋藤裕美・隅藏康一「産学共同研究と企業パフォーマンス ~医薬品産業におけるパイプラインに着目して」『日本知財学会第12回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM中4頁(2014年)
- * Yoko Furuswa, Kazuma Edamura, Koichi Sumikura “Impact of regulation on firm R&D activity—the case of Japanese manufacturing sector—,” 15th Eurasia Business and Economics Conference, Lisbon, 23 pages (CD-ROM) (2015).

3. 教育

(1) 講義

- * Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation (Fall Term)

(2) 論文指導

- * 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程 3 名（主指導 2 名・副指導 1 名）
- (3) その他
 - * 客員研究員 5 名の受け入れ

4. 管理・運営への関与

- (1) 委員会
 - * 博士課程科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー メンバー
 - * 修士課程科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー メンバー
 - * 図書館運営委員会 委員
 - * 不正防止計画推進室 委員
- (2) その他
 - * 政策研究センターリサーチプロジェクト：
エビデンスに基づくライフ・イノベーション政策の構築プロジェクト 研究代表者
 - * 政策研究センター学術会議支援事業：
産学連携人材の育成に関する研究会 事業代表者
 - * 文部科学省国立大学強化推進事業：
アカデミアの戦略的ガバナンス研究プロジェクト メンバー
 - * GRIPS/NISTEP セミナーを実施：2014 年 5 月 29 日、7 月 3 日、7 月 31 日、9 月 18 日、
10 月 30 日、12 月 18 日、2015 年 1 月 22 日

5. 社会的貢献（A）

- (1) 他大学・研究所等における活動
 - 非常勤講師
 - * 東京理科大学 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 知財学特論 A「バイオ特許戦略」（前・後期に各 2 単位）
 - * 東京大学大学院 総合文化研究科 統合自然科学科「知財・技術経営論」（2 単位）
 - * 早稲田大学理工学部・大学院理工学術院「知的所有権特論」（1 単位）
 - * 東京大学 ライフイノベーションリーディング大学院 “Life Innovation Leadership Development” の一部として、“Research Ethics, Laboratory Management and Intellectual Property”の講義を実施（90 分 1 コマ）
 - * 大阪工業大学大学院 知的財産研究科「現代知的財産制度特論」の一部として、「バイオテクノロジーと特許の課題」の講義を実施（90 分 1 コマ）
 - * 東京工業大学 工学部「総合科目 A 科学者とは」の一部として、「知的財産権をめぐる問題」の講義を実施（90 分 1 コマ）
 - 委員会等
 - * オーダーメイド医療の実現プログラム（事務局：東京大学医科学研究所）ELSI 検討小委員会 委員
 - その他
 - * 広島大学 高等教育研究開発センター 客員研究員
 - * 厚生労働科学研究費補助金 創薬基盤推進研究事業「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」（研究代表者：松山晃文 独立行政法人医薬基盤研究所 難病・疾患資源研究部 部長）研究分担者
 - * CITI Japan (Collaborative Institutional Training Initiative Japan) (事務局：信州大学医学部)

教材作成への協力「責任ある研究行為：基盤編」ならびに「理工学分野における共同研究」

(2) 財団法人等における活動

役員, 委員会

- * 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
- * DIPEX-Japan 情報倫理委員会 委員
- * 公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 10周年記念誌 編集委員
- * 公益財団法人東京都中小企業振興公社 平成26年度グローバルニッチトップ助成事業 審査会委員
- * 発明推進協会 産業財産権人材育成協力事業 フィリピンからの研修生(1名)のアドバイザー
- その他
- * 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ 客員総括主任研究官
- * 文部科学省 科学技術・学術政策研究所・科学技術動向調査センター 専門調査員
- * 特定非営利活動法人21世紀構想研究会 メンバー(知的財産委員会 委員)
- * 一般財団法人 比較法研究センター 医療と法ネットワーク 賛同者・会員

(3) 学会等における活動

- * 研究・技術計画学会 事務局担当理事; 第29回シンポジウム実行委員
- * 日本知財学会 理事(2014年6月まで); 学会誌企画委員長(2014年5月から); 日本知財学会10周年記念事業 知財学ゼミナール書籍 編集委員長
- * 日本機械学会 法工学専門会議 運営委員長
- * 日本機械学会 NEDO委託事業「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」実行委員会 委員
- * Asian Research Policy, Editorial Board Member

(4) 審議会等における活動

- * 衆議院経済産業調査室 客員調査員
- * 厚生労働科学研究費補助金 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業(再生医療関係研究分野) ELSI 委員会 委員
- * 農林水産技術会議 平成26年度委託プロジェクト研究「ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」運営委員会 委員
- * 裁判所 専門委員(東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属)

6. 社会的貢献(B)

(1) ジャーナリズムでの発言

活字メディア

- * 2014年4月3日 朝日新聞朝刊34面 実験ノートの意義についてコメント(同日の朝日新聞DIGITALにもほぼ同内容の記事が掲載された)
- * 2014年4月9日 NHK News Web (<http://www3.nhk.or.jp/news/>) 一般的な実験ノートの機能についてコメント
- * 2014年4月10日 実験ノートの要件についてコメント(同日の朝日新聞DIGITALにもほぼ同内容の記事が掲載された)
- * 2014年4月27日号 サンデー毎日16-17頁 基礎研究と特許の関係についてコメント

(2) 講演会, 座談会, 会議出席

- * 講演：NISTEP セミナー、「民間企業の研究活動に関する調査報告 2013」、2014 年 5 月 21 日
- * 講演：厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究 班会議、「ヒト研究試料の知的財産面での課題」、2014 年 7 月 9 日
- * 講演：産学連携によるイノベーション分科会（第 159 回知的財産マネジメント研究会）、「イノベーションの事例と定義」、2014 年 7 月 12 日
- * 講演：生産技術振興協会 医療機器及び周辺機器参入分科会・知財経営分科会 共催会合（大阪）、「医療機器参入における知的財産上の留意点」、2014 年 8 月 26 日
- * 講演：第 2 回 TR 推進合同フォーラム（九州大学）、「ライフサイエンス分野の知的財産」、2014 年 10 月 23 日
- * 講演：NISTPASS（ベトナム）研修（GRIPS 内）、「Survey on R&D Activities of Private Corporations in Japan」、2014 年 10 月 28 日
- * 講演：第 9 回日中韓科学技術政策セミナー（中国・成都）、「Survey on R&D Activities of Private Corporations in Japan」、2014 年 11 月 10 日
- * 講演：厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究 WS ヒト由来の生物資源の知財等の環境について、「ヒト由来の生物資源から派生した知財について」、2014 年 11 月 17 日
- * 講演：科研費新学術「合成生物学」領域 社会との接点ワークショップ、「合成生物学と知財」、2014 年 11 月 29 日
- * 講演：第 7 回政策研レビューセミナー、「日本企業の研究活動とその成果 民間企業の研究活動に関する調査 2013 から」、2014 年 12 月 16 日
- * 講演：特許庁昼休みセミナー、「日本企業の研究活動とその成果 民間企業の研究活動に関する調査 2013 から」、2015 年 1 月 20 日
- * 講演：GRIPS/NISTEP セミナー、「イノベーション事例調査（中間報告）」、2015 年 1 月 22 日
- * 講演：衆議院経済産業調査室、「日本人発明者の移動と技術流出リスク」、2015 年 2 月 6 日
- * コメンテーター・企画運営責任者：政策研究大学院大学 文部科学省科学技術・学術政策研究所 一般財団法人日本規格協会 共催セミナー「自動運転システムにおける標準化」、2015 年 3 月 5 日
- * 講演：イブニングトークセッション 2025 年のアカデミック・リサーチを考える ～人財問題にフォーカスして（第 166 回知的財産マネジメント研究会）、「NISTEP 『民間企業の研究活動に関する調査』の結果から」、2015 年 3 月 14 日
- * 講演：日本知財学会 ライフサイエンス分科会 オープンセミナー 合成生物学と法規、「知財の観点からの合成生物学」、2015 年 3 月 21 日
- * 総合オーガナイザーとして主宰：知的財産マネジメント研究会（Smips）、2014 年 4 月 12 日、5 月 10 日、6 月 14 日、7 月 12 日、9 月 13 日（「第 14 回知的財産・産学連携ワークショップ」として開催）、10 月 11 日、11 月 8 日、12 月 13 日、2015 年 1 月 10 日、2 月 7 日、3 月 14 日